

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,736	有識者等の報償費（研究会、市町村等派遣）
旅費	1,665	有識者等の旅費（研究会、市町村等派遣）
使用料及び賃借料	61	研究会の会場使用料
合計	3,462	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画（改訂中）

(2) 国・他県の状況

なし

(3) 後年度の財政負担

県内各地域でのエネルギー自給の向上に向け、段階に応じた支援が必要となる。

(4) 事業主体及びその妥当性

エネルギーの地産地消については、地域の活性化や強靱化という観点から市町村が主体となって検討を進めるべきであることから妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 再生可能エネルギー創出量を2030年度までに2013年度比9.1倍(21.64PJ)にする。
 再エネ電力比率を2030年度までに52.9%にする。
 （計画改訂に伴い目標値を見直し予定）

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R5年度 実績	R6年度 実績	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
再生可能エネルギー創出量	8.9PJ	11.90PJ	12.19PJ	計画改定中	21.64PJ	
再エネ電力比率	17.1%			計画改定中	52.9%	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和5年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和6年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)
2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
エネルギーの地産地消の取組を具体化するにあたり、知識やノウハウが不足する市町村に対する支援が必要である。

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
エネルギーの地産地消に取り組む市町村を後押しすることで、地域のエネルギー自給の向上を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課